

ご挨拶



このたびの東日本大震災により被災されました皆様に、衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

当社は基盤技術であるシール技術、ふっ素樹脂加工技術の強化とともに、かねてより、それら技術の新規、周辺領域への拡大と展開を図ってまいりました。その結果、機能膜やメンブレンなどの分野でも、徐々にその成果が挙がりつつあります。最近の本誌掲載の技術論文の傾向を見ますと、こうした新規分野の技術論文が増加し、ここ2年ほどではシール・ふっ素樹脂関連とはほぼ同数の論文掲載をおこなっております。2010年夏号でご紹介しましたEDLC電極膜は、上海での量産設備を稼働しつつあり、新規分野における開発成果の事業化も着々と進捗しております。本号では、新たな分野として炭素繊維強化複合材料に関する論文を掲載いたしました。

一方、製品のご紹介では、自社開発による新規シール製品とともに、米国ブース社との提携によるPEEKやPTFE熱収縮チューブ、韓国タコニック社との提携による電子基板材料や絶縁シートなど、アライアンス製品の充実も図っております。海外メーカーを含む幅広い提携関係を更に進め、今後ともお客様のニーズに対応した製品をスピーディーにご提供してまいります。

バルカーグループは、中国・アセアンを中心に生産・販売・研究開発を展開してまいりましたが、特に中国では延伸PTFEなど、メンブレン製品の環境市場への投入を加速すべく、中国総合研究所におけるメンブレン開発機能の強化に着手しております。近い将来には、中国における研究開発成果の本誌への掲載も進めてまいりたいと考えております。

当社は、経営理念にもある「顧客感動の提供」を通じて、社会への安全・安心な製品・サービスの提供に努めており、震災後の復興にもまた積極的に貢献してまいりたく考えております。本誌を通じた技術成果の一端のご紹介が、当社をご理解いただく一助となれば幸いです。最後になりましたが、読者の皆様の益々のご発展をお祈りいたします。

常務執行役員 CTO（最高技術責任者） 黒田 博之